

高知福祉専門学校

学校新聞 1月号 学校の行事や魅力を毎月お届けします！

クリスマス特集	1
保育実習II・III報告会	2
ケーススタディ発表会	2
移動介助の体験！	2
特別福祉学習	3
介護特別授業	3
パンフレット撮影	3

クリスマス特集

昨年12月に校内で行われたクリスマス会の様子をご紹介します！



こども福祉学科

12月22日、こども福祉学科2年生にてクリスマス会が開催されました。

全員前を向いた状態で席に着くなど感染対策を講じた上で、ケーキ・お菓子・ピザなどを美味しくほおぼる学生たち。その後は、学生それぞれが用意したプレゼントの交換が行われました。中身は、コーヒーやお茶の葉であったり各自思い思いのプレゼントが用意され、嬉しそうに見せてくれました。

次は、ゲームタイム。2人1組で背中合わせになり、背中と背中で風船を挟み次のペアへ繋ぐゲーム、頭の上に付けたコップにバウンドさせたスーパーボールを入れるゲーム、最後にはジェスチャーゲームが行われました。かなり難しそうに見えるスーパーボール入れゲーム、学生たちは大苦戦。しかし、初めに見せてくれた担任・細川先生の見本では一発成功！大歓声があがりました。どのゲームにも一生懸命取り組み、またとても楽しそうに笑う学生たちはキラキラしていました。

細川先生も「疲れた」と言いつつも、とても嬉しそうに学生を見ており、「人の楽しさは自分の楽しさにも繋がる」とおっしゃっていました。(記事：津野)

社会福祉学科

こども福祉学科

12月13日、社会福祉学科・こども福祉学科の1年生によるクリスマス会が開催されました。

クラスの委員長・副委員長を中心に企画され、先生や学生がサンタさんやトナカイなどの仮装をし、ジャンケン列車・何でもバスケット(フルーツバスケット)が行われました。とても懐かしいゲームに学生たちも大盛り上がりの様子でした。

クリスマス会の最後には、プレゼント交換を実施。はじめは、横の人に渡し音楽が止まったときに手元にあるものをゲット！という流れでしたが、音楽が止まった時に手元に2つプレゼントがあるなど、なかなかの大苦戦(笑)。副委員長のもと仕切りなおし、次はプレゼントを置いた椅子の周りを学生たちがグルグル回り音楽が止まったときに目の前にあるプレゼントをゲット！というルールで、無事成功。プレゼントを開ける瞬間はみんな大盛り上がりでした！学生も、「準備も含め楽しかった！」と満足げな様子で話してくれました。(記者：津野)

12/19 保育実習Ⅱ・Ⅲ報告会

社会福祉学科

こども福祉学科

12月19日、社会福祉学科・こども福祉学科2年生による保育実習報告会が行われました。

11月に行った保育実習Ⅱ（保育所）、保育実習Ⅲ（施設）のもので、気づきや発見、他のクラスメイトの取り組み内容や振り返りといった『学び』を全体で共有するため行われます。今回の報告会も（11月号にも掲載した）保育実習Ⅱ・Ⅲ壮行会の時のように、学生も緊張した面持ちで席に着いており真剣なムードで執り行われました。全員スーツ着用、司会・タイムキーパーは学生が務め、資料も各学生が作成したものを、実習施設ごとに実習先の概要、実習目標、実習内容、課題・反省点等を発表しました。

保育実習Ⅱ（保育所）では、実際に子ども達の前で話したり、製作やダンス・ゲーム等を行う『部分実習』『責任実習』を行いました。各自、『部分実習』『責任実習』を含む10日間の実習での学びや課題等を発表し、質疑応答も設けられ、発表を聴き、質問をすることで自分の行動を振り返るだけでなく、目的にもあるように学びの共有や気づきがあったのではないのでしょうか。

私は発表を聞いただけにすぎませんが、皆いろいろ考えて工夫・準備を行い実習に取り組んだ姿に感心させられました。兔にも角にも、学生の皆さん、おつかれさまでした！

（記者：津野）



力を合わせて作った制作物は力作揃い！

1/12 ケーススタディ発表会

介護福祉学科

1月12日、介護福祉学科2年生が2年間の集大成としてケーススタディ発表会を行いました。

実習施設で利用者様とどう関わり接して来たのか等について、緊張しながらも皆さん立派に発表していました。将来への学びとして介護福祉学科1年生も参加し先輩方の発表を真剣に聴いていました。

発表を聴いた1年生は、「実習での体験談を交えた発表なので非常にいい経験になりました。」「自分も来年は同じ立場に立つので、発表を聴いて気が引き締まりました。」「これからの実習に繋げていき、取り組んでいきたいです。」と感想を話していました。

（記者：奥田）



移動介助の体験！

社会福祉学科

介護福祉学科

12月から1月にかけて、介護福祉学科1・2年生、社会福祉学科3年生を対象に車いす移動介助やガイドヘルプの体験が行われました。校外に出て、実際にアイマスクを着けたり、車いすに乗った学生を誘導・介助の体験を行ったりすることで移動に関する技術の修得や支援対象者の理解を深めようという目的から行われました。

その中で、今回は介護福祉学科1年生の車いす体験を取材してきました！車いすに乗った学生と誘導する学生の2人1組で、帯屋町アーケードを自由に行き来するという内容です。立ち寄りしたい店に行って良いというルールで、各自パン屋さんやコンビニエンスストア、ドーナツ屋さんに行くなど楽しそうな様子。

ただ、その中でたくさんの気づきがあったようで・・・。「車いすだと目線が下になるから、立った状態ではなく目線を合わせて話してくれると圧迫感を感じず、気持ちが楽」

「小さい段差でも、振動が大きく感じる」「バリアフリーが完備されている、されていないのでは全然違う」などと教えてくれました。実体験で気付くことで、より学びが深まったことでしょう！

オープンキャンパスでもこういった体験を行っていますので、興味をもった方はぜひご参加を！（記者：津野）



車いすに乗った状態での買い物にもチャレンジしました



特別授業

『日常にある福祉について』

社会福祉学科

1月中旬、社会福祉学科2年生を対象に『日常にある地域福祉について』というテーマで社会福祉法人高知市社会福祉協議会地域協働課の方にお越しいただき、特別授業を計3回行っていただきました。その中でも、1回目に行われた授業について紹介したいと思います。

まず『福祉』『社会資源』という言葉の意味について説明があり、皆が同じように幸せに暮らす、そのために人が利用し得るものすべて（＝社会資源 例：学校）を活用するということを学びました。

次に、それらを念頭に、とある家族が高知福祉専門学校の周りに住んでいるという設定でその一家の家庭状況を想像しながら、実際に高知福祉専門学校の周りを探索しました。高知市社会福祉協議会の方の案内で、小学校や子ども食堂、地域で行われる百歳体操のことを教えていただきながら学校の周りに活用できる社会資源があるか探しました。学生からも「ここ、初めて知った!」という声も聞かれたように、自分が通う学校の周りについても知る良い機会になったと思います!

その後教室に戻り、この家族の状況を深堀りするために質問する時間が設けられ、たくさんの質問から家庭状況を詳しく見ることができました。

第2回目、第3回目の授業では前回の授業内容をふまえて、この家族の抱える問題点の解決策等を考え、様々な意見が飛び交っていました。そして、地域の社会資源の大切さを学ぶとともに、そういった問題を解決するために、社会福祉協議会はどういったことを行うのかというお話を聞くことができました。

社会福祉協議会のマスコットキャラクターである『ほおっちょけん』のように、些細な事でも周囲に関心をもつ事から、困っている人を助けるお手伝いができるのではないかと感じた講義でした。
(記者：津野、野村)

学校周辺を
探索!



多くの気づきがありました



高知市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ほおっちょけん



1/17 介護特別授業を開講

介護福祉学科

1月17日、介護福祉学科の1年生を対象に外部講師を招いての特別授業を開講しました。

当日は、高知市健康福祉部基幹型地域包括支援センターより、浅野様にお越し頂き『高齢者虐待について』というテーマで特別授業を開講しました。

講義では、高齢者虐待について、具体的な説明や現状及び傾向などについてお話をして頂きました。

また、地域包括支援センターで抱えている現在進行形の事例について、ワークショップ形式で話し合い、学生同士で意見交換をしました。

質疑応答では、虐待件数の増加と新型コロナウイルスの流行の時期についての関連性はあるのか等、鋭い質問がたくさん出ていました。

今回の講義では、成年後見制度など、国家試験に直結する内容も多く、学生は非常に実りのある講義を受講することができ、講師の浅野様からも「みんな真面目に一生懸命話を聞き、積極的にグループワークに参加してくれ、盛り上がった。」とのお言葉を頂きました。

受講した皆さん、今回の経験を今後の学習に活かして頑張ってください。
(記事：野村)



mini TOPIC

まるでモデル!?パンフレット撮影

現在、次年度パンフレットを作成中!1月上旬に校内での在校生撮影を行いました。介護福祉学科の撮影ワンシーンををご紹介します♪学生たちは照れくさそうにしながらも、撮影が始まるとキラッとした表情でカメラマンの指示通りにしっかりと撮影に臨んでいました。

パンフレットは4月に完成予定です。乞うご期待!

